

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
若松梱包運輸倉庫株式会社	代表取締役	若松 明夫	石川県	運輸業	https://wakamatsukonpou.co.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年8月29日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	待機時間をデータ化・分析し、荷待ちコストの削減提案を行うことで、ドライバーの拘束時間を削減します。お取引先(荷主)だけでなく、地域のお届け先とも関係を深め、積極的に対策を提案しています。
2	A ⑤ ⑥	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離 集荷先や配送先の集約	集荷エリア毎に集約基地を設け、小口貨物は直接持ち込んでいただくなど、柔軟な物流設計で輸送効率を高めます。ドライバーの負担軽減に加え、配送エリア側での荷役作業時間の短縮にもつながっています。
3	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	お取引先より出荷情報の事前共有をいただいた上で、随時分析を実施しています。荷量がまとまっているお届け先については、あらかじめお届け先単位でのピッキングをお願いし、出荷から荷卸しまでの時間を短縮することで、双方の業務効率を向上させています。
4	A ⑯	検品水準の適正化	お届け先からの「入庫時の検品作業にかかる時間を短縮したい」との要望に対して、弊社にて配送前の検品を確実に実施することで、お届け先における検品を省略いただくこととしました。エリア内のお届け先との信頼関係を活かし、入庫作業にかかる時間の短縮を実現しています。
5	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	台風・豪雨・豪雪等の異常気象や災害発生の際、正確な情報共有を図ります。また、緊急時にはお取引先へ受注停止を能動的に依頼することで、サプライチェーンの混乱防止と安全確保に努めています。
6	F ①	職場環境の改善	多様な人材の活用を目指して、ユニフォームの変更や、休憩室や更衣室のリニューアルを図るなど女性目線の意見も取り入れた形での職場環境改善に取り組んでいます。
PR欄			<p>弊社は1927年、石川県金沢市に創業。北陸の共同配送を最初に手がけ、半世紀にわたるノウハウと実績で、お客様の「車両削減」「物流合理化」に貢献してきました。北陸における配送先カバレッジは食品ではほぼ100%を誇ります。今後、これまで培ってきたノウハウと高い品質を生かし、北陸エリアのみならず、国内外でのコールドチェーン網の拡大を目指しています。</p> <p>また、職場環境の改善にも取り組み、女性のみに限らず、高齢者・障がい者を含めた幅広い人材を活用し、社員それぞれが成長を目指すことのできるよう、多面的な組織づくりの推進を続けます。</p>